

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和4年5月16日 ~ 令和5年3月7日
調査研究事項	《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》 《委託研究VI》 ・ 入学要件・時期に関すること ・ 見学や体験入学などの在り方について ・ 教育課程・指導上の工夫に関すること ・ 生徒一人一人の状況に応じた学習指導の充実について
調査研究のねらい	<p>川崎市立西中原中学校夜間学級は、外国につながるのある者や既卒者による入学希望者が年々増加している。今後は入学希望者のニーズも一層多様化することが予測されることから、入学希望者が求める学びについて十分に確認し、必要な支援や多様な教育機会を提供することができるような工夫が必要である。そのため、入学前の見学や体験入学など夜間学級と教育委員会が連携して進めることが重要であると考え。</p> <p>夜間学級に通学している生徒は、日本だけでなくフィリピン、中国、インド、ネパール、タイ、スリランカ等の多様な国籍を持つ生徒が在籍の多くを占めるほか、高齢の生徒も在籍している。そのため、算数・数学や国語等の基礎的・基本的な学習内容については、日本語を含め、生徒の個々に応じた指導が必要である。生徒の状況に合わせた教材の在り方について研究し、生徒の資質・能力の育成を図る。</p> <p>また、体育祭や文化祭などの学校行事など人との関わりを通して、多文化共生について学ぶ機会や日本の伝統的な文化等に触れる機会を設け、多様な文化に対する理解を深めたり、教養を身に付けたりすることをねらいとしていく。</p>
調査研究の成果	<p>外国につながるのある者や既卒者による入学希望者が年々増加している傾向があり、個々の学習に対してのニーズを的確に把握することが必要となる。そのため、入学希望者には夜間学級での体験入学を必ず行い、教育委員会による事前相談や面談を行って学習状況等を聴き取り、西中原中学校夜間学級と情報共有を行った。それぞれの面談、体験入学での学習状況等から、夜間学級と教育委員会で協議し、個々に応じた入学後のカリキュラム編成等について検討し多様な教育機会を設けることができた。</p> <p>既卒者を含む入学者について、学び直しの場合として、算数・数</p>

学や国語等の基礎的・基本的な学習内容の充実を図った。また、定期的に夜間学級担当職員による指導事例検討会を実施し、多様な授業展開を探り、生徒の資質・能力の育成のための学習指導方法の改善を図った。

日本語の習得状況が十分でない生徒に対しては、日本語能力の向上を図るために、どのような指導が適切であるかについて夜間学級と教育委員会が連携して日本語指導研修を定期的実施し、日本語教育への理解を深め指導の向上を図った。

生徒の教材については、日本語指導研修講師や指導主事等が授業参観に参加したり、指導事例検討会を実施したりしながら個々の学習に応じた教材の検討・協議を行った。生徒の資質・能力の育成や学習の定着を目指し、教材(購入教材)を使用し、またそれを基に自主教材を作成した。

さまざまな国につながるのがある生徒が、現在生活している日本の文化を理解するために、講師を招聘しての茶道教室や箏教室、陶芸教室等を行い、伝統文化や日本の年中行事に触れる機会を設けた。また、文化祭等で自分の国を紹介する場面を設け、様々な国の文化を知り理解をすることで、多文化共生への理解を深めた。

西中原中学校の夜間学級についてのポスター、チラシを多言語で作成し、区役所等で掲載、配布を行った。教育の機会が必要な者へ夜間学級の情報が伝わるために、ポスター、チラシの在り方についても検討した。また、教育委員会、学校ホームページ、市政だより等で夜間学級についての広報を行った。